



トキと中国と私

先月「人とトキが共生できる地域環境づくりプロジェクト詳細計画策定調査」の評価分析を担当することになり、中国へ出張しました。日本国内においても11月に20羽のトキが放鳥され、最近話題になっているトキの話と小ネタをお伝えできればと思います。



中国には現在約1400羽のトキが生息しています。うち800羽は陝西省の野外に生息し、既に自然繁殖もしています。日本国内の個体数が180羽(野外・飼育)程度と考えると、中国の方が繁殖技術は進んでいるのかもしれませんが、その辺の田んぼで餌を取っているトキもよく見かけたのですが、夕方群れをなして森(ねぐら)へ帰るトキの姿は、灰色の空に薄桃色(朱鷺の羽の色)の華が咲いたようでとても美しかったです。



中国においても一時期、トキは絶滅したといわれましたが、1981年に7羽のトキが発見されました。その内の1羽が現在も生きていて、北京動物園に保護されていました。メス28歳。日本での最後の1羽キンとのペアリングのため、日本にも連れて来られたのですが、成功せず、今は静かに余生を過ごしているようです。



さて私にとっては初中国でしたので、ちょっとビックリしたことがありました。

<トイレ>

何気なく入ったのですが、気づくと便器が2つ。なんで便器が2つ?? さらに村に行くと公衆トイレは「便器が5つ」でした。ちょうど3番目を利用している方もいて、かなり躊躇しましたが、我慢できなかったのので、私は5番目を利用いたしました。(食事中の方すみません)



<北京動物園のパンダ>



北京動物園では折角なのでパンダも見せてもらいました。1頭はガラス戸に頭をつけて爆睡中でしたが、子パンダ達は一所懸命ササの葉を食べていて、可愛かったです。しかしパンダ館を出ると、妙な「仮装パンダの置物群落」を発見してビックリしました。ちょっと怖かったです。このセンスは一体。。。



今年日本では、イベント的な放鳥(箱から1羽ずつ)ではなく、トキ自身が飛び立つのを待つ(ソフトリリース)方法で行われ、現在群れを成しているトキもいるそうです。いつの日か、兵庫県でもまた私の故郷九州でも、元気に羽ばたいているトキを見ることができると訪れることを願っています。

